

教科(科目)	保健体育（体育）	単位数	3単位	学年(コース)	6学年
使用教科書	大修館『最新高等保健体育』				
副教材等	大修館『ステップアップ高校スポーツ』、大修館『最新高等保健体育ノート』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に付け、グローバル（地域的・地球的）な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p>

2 学習目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。

(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

(3) 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

3 指導の重点

- ①自己の能力に適した課題をもち、仲間と協力して、意欲的に学習に取り組むことができる。
- ②活動ごとに振り返りを行い、次に活動につなぐことができる。
- ③各単元の技能が身に付くとともに、自己の記録や技能に向上することができる。
- ④教科書や副教材を使い、運動や健康についての知識を身に付けることができる。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

5 評価方法

	評価は次の観点から行います		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・技能テスト（陸上の記録会等）の記録や出来映え ・課題レポートや小テストの記述の状況 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ ・練習の状況 ・発表やグループ活動での活動状況 ・記録用紙等の記入の仕方 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・服装、集合時間、準備運動の取り組みを始めとする活動への参加状況 ・用具の準備や片付けの取り組み状況 ・学習カードの記入状況 などから、評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点「A：十分に満足できる」、「B：おおむね満足できる」「C：努力を要する」で評価します。内容のまとまりのごとの評価基準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	時数	学習活動(指導内容)	評価方法
4 5	体づくり運動	14	<ul style="list-style-type: none"> ・体育を学習する意味を理解し、学習意欲を高める。 ・集団行動を身に付ける。 ・身体の様々な部位を動かすことで心地よさや楽しさを味わう。 ・仲間の体や心の状態に気づき、仲間との交流を深める。 ・運動の意義や方法、強度、回数等を理解し工夫することにより、自己に適した体力向上の実践力を身に付ける。 ・自己の体力を知り、健康の向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・生徒同士による相互評価 ・確認テスト ・学習カード
5	陸上競技 ・短距離走 ・長距離走	8	<ul style="list-style-type: none"> ・各運動の基本動作を習得し、運動技能を向上させる。 ・自己の能力に応じて目標を設定し、それに向けた練習をする。 ・競技規則を十分理解し、互いに協力して記録をとる。 	行動観察 記録会 学習カード
6	体育理論 ・生涯スポーツの見方・考え方 ・ライフスタイルに応じたスポーツ	3	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ科学やスポーツに関わる職業について考える。 ・自分や身のまわりの人のスポーツライフについて考える。 	学習ノート レポート
7	【選択】球技 ・サッカー ・テニス ・器械運動	18	<ul style="list-style-type: none"> ・種目の特性を理解し、ゲームや演技発表をとおして、その種目の楽しさを味わうことができる。 ・個人やチームの課題を設定し、解決に向けての練習を工夫することができる。 ・個人やチームの能力に応じて作戦を立て、持っている技能を最大限に活用してゲームを行うことができる。 ・仲間と協力して、安全に留意して場の設定や練習をすることができる。 	練習、ゲームでの行動観察 スキルテスト 学習カード

9 10	【選択】 ・ソフトボール ・ダンス	18	<ul style="list-style-type: none"> ・種目の特性を理解し、ゲームや演技発表をとおして、その種目の楽しさを味わうことができる。 ・個人やチームの課題を設定し、解決に向けての練習を工夫することができる。 ・個人やチームの能力に応じて作戦を立て、持っている技能を最大限に活用してゲームを行うことができる。 ・仲間と協力して、安全に留意して場の設定や練習をすることができる。 	練習・試合での行動 グループ発表 観察 学習カード スキルテスト
10	陸上競技 ・長距離走	5	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上、記録向上に向け、長距離走の基本動作を習得し、持久力を向上させる。 ・自己の能力に応じて目標を設定し、それに向けた練習をすることができる 	行動観察 自己目標の達成状況 記録会 学習カード
11 12	【選択】 ・バレーボール ・バスケットボール ・柔道	18	<ul style="list-style-type: none"> ・種目の特性を理解し、ゲームや演技発表をとおして、その種目の楽しさを味わうことができる。 ・個人やチームの課題を設定し、解決に向けての練習を工夫することができる。 ・個人やチームの能力に応じて作戦を立て、持っている技能を最大限に活用してゲームを行うことができる。 ・仲間と協力して、安全に留意して場の設定や練習をすることができる。 	練習・試合での行動観察 学習カード スキルテスト
1	体育理論 ・スポーツを推進する 取り組み ・豊かなスポーツライフ の創造	3	<ul style="list-style-type: none"> ・諸外国のスポーツを推進する取り組みについて考える。 	学習ノート レポート
1 2	【選択】 ・卓球 ・バドミントン	18	<ul style="list-style-type: none"> ・他の種目に比べ、技能の習熟度にかかわらず楽しめるスポーツであることを理解し、仲間と工夫しながら活動ができる。 ・対戦表などの記録表を活用し、自分たちで試合を進めるなど、運営する力を高める。 	練習・試合での行動観察 学習カード

計 105 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

- ・各単元終了後に、配られた学習カードに反省、成果、結果等の必要項目を記入し、提出する。
- ・体育理論では、授業で行った内容をレポートで提出する。

8 担当者からの一言

体力の向上は生涯を通じた健康の保持増進に繋がります。とは言っても若い生徒の皆さんにはピンとこないかもしれません。しかし、年齢を重ねるにつれて運動やスポーツに親しむ習慣によって、体力の差はどんどん開いていきます。健康寿命にも大きく影響すると考えられます。人生を豊かにするためにも体育授業を通して運動やスポーツをすることの意義や楽しさを感じてほしいと思います。

(担当 山田 和弘)